

第118号

まちのくすりやさん

今回のおはなし

「しびれの原因 隠れた病気？」

「タバコは百害あって一利なし」



しびれの原因 隠れた病気？

しびれに悩む高齢者は少なくありません。しびれの原因は骨の変形から脳卒中までさまざまです。しびれている場所に原因があるとは限りません。隠れた病気が見つかることもあり、医師は早めの受診を勧めます。

しびれの正体は、神経の働きの異常です。手足感覚を脳に伝える神経のどこかに異常があると、感覚がマヒしたり、何も触れていないのにジンジンしたりします。しびれの感じ方や表現はさまざまで、客観的な評価が難しいです。しびれを伴う病気は、糖尿病の合併症や神経を包むさやが壊れると、多発性硬化症に、筋肉を動かす神経が傷害されると、ギラン・バレー症候群などになります。しびれている場所やその近くに原因があるとは限りません。隠れている病気が見つかることもあるので、神経内科や整形外科への早めの受診をして下さい。中でも、左右どちらかの手や口のまわりに急に強いしびれを感じる場合、脳の視床と呼ばれる部分の脳卒中が原因として疑われ、急を要します。頸椎症のように、神経の圧迫で起きるしびれは、高齢者ではしばしばみられます。神経の異常がある部位によって、しびれを感じる場所も変わってきます。手の指がしびれる病気として「手根管（しゅこんかん）症候群」が知られています。手首付近で、じん帯と骨で狭まれた神経の通り道（手根管）が圧迫され、親指から薬指にしびれがでます。手の仕事が多い人がなりやすいです。ひじの内側の神経が骨などで圧迫される「肘部管症候群」でも、薬指や小指にしびれがでます。おしりから足の後ろ側にしびれや痛みを感じる場合、「腰部脊柱管狭窄症」が疑われます。しびれは左右どちらかの場合も両足の場合もあります。加齢で腰椎の変形やずれによって、神経の通り道（脊柱管）が狭くなり、脊髄や神経根が圧迫されて起こります。長時間歩いたり、立ち仕事を続けていたりすると、しびれが出やすいです。

治療は、症状を和らげるため、過剰な神経活動を抑える薬や炎症を抑える薬などが使われます。神経の圧迫が強く、日常生活に影響が大きい場合は、骨を削ったり、金具で固定したりする手術を検討することになります。

手袋や靴下で覆われる手足の先端部分にしびれや痛み・冷えがある場合、糖尿病で起きる神経障害が原因のことがあります。初期の糖尿病は自覚症状がなく、手足のしびれをきっかけに糖尿病が見つかる場合もあります。これは、末梢神経の神経細胞内に糖がたくさん取り込まれ、神経細胞の働きに異常が起きると考えられています。足のしびれを放っておくと、悪化して激痛やマヒを起こし、足の壊疽の原因に繋がりがかねないです。悪化した神経障害を治療するのは難しいので、食事や運動、薬で血糖コントロールをして、悪化しないようにします。

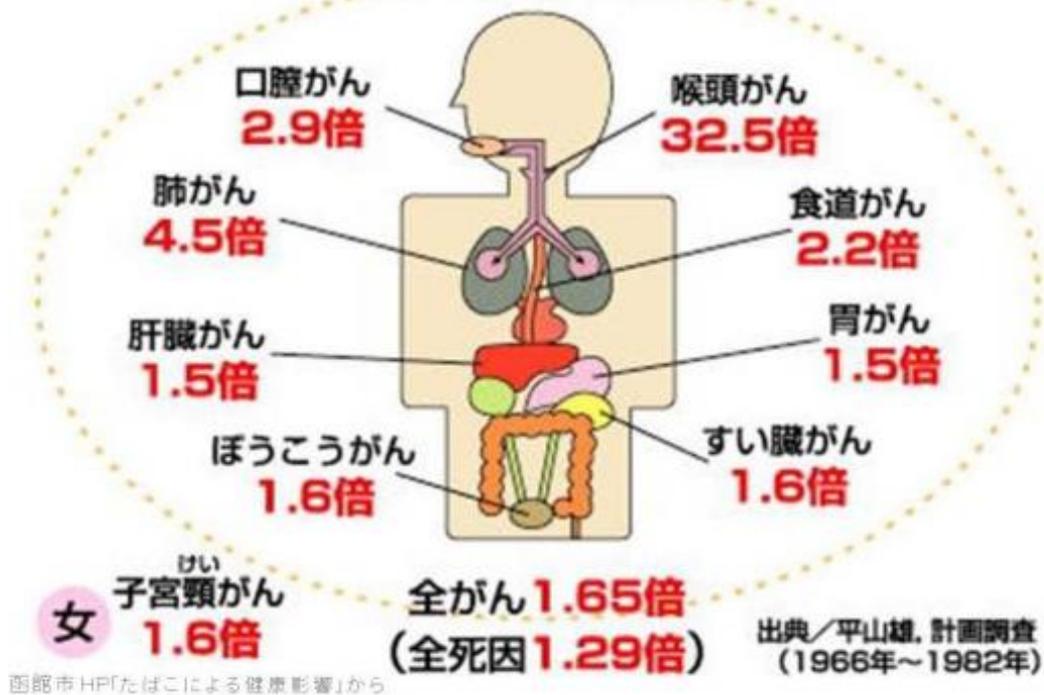
早期発見・治療・予防が重要です。

ガ・タバコ

タバコは「百害あって一利なし」

何らかの病気になる確率が高く、がんを患う人も少なくありません。だから喫煙者が、がんになる確率はタバコを吸わない人に比べ当然高く、さらにはがんによって死亡する率は下図に示すように何倍にもなっています。例えば、咽頭がんは、なんと32.5倍、肺がんでも4.5倍となっており、全体では1.65倍も死亡率が高くなっています。要するに、喫煙を続けている人はタバコを吸わない人より死亡率が高いわけです。

非喫煙者と比較した喫煙者のがんによる死亡率調査



(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>